

第23回寺子屋式 燃料電池講習会開催のご案内

寺子屋式講習会は、その名前の通り燃料電池初心者の皆様に、“基礎から丁寧に”をモットーに2002年の12月から開催してまいりました。さまざまなタイプの燃料電池の開発が進む中、2009年にはENE-FARMの一般販売が開始され、2016年1月の段階でPEFCタイプ、SOFCタイプ併せて15万台が販売され、16年度は年間5万台を上回る勢いで推移しています。一方、政府は「エネルギー基本計画」(2014年閣議決定)において“水素は将来の二次エネルギーの中で、電気、熱に加えて中心的役割を果たす”と明記しました。そして、燃料電池車は、2014年にMIRAIの一般販売、2016年にはClarity Fuel Cellのリース販売が開始されています。

さて、28年度予算として、クリーンエネルギー自動車導入促進対策費補助金として「137億円」、水素供給設備整備事業費補助金も「62億円」を計上しました。更に「エネファーム」導入支援補助金として「95億円」を計上し、燃料電池・水素社会への移行は政府をはじめ、産官学一体となって、推進されています。その様な背景も含め、新しく燃料電池に取り組む方々には、「太陽電池や蓄電池に比べて何となく分かりにくい…」、「触媒や電解質膜の実物を見て理解を深めたい」、「水素ステーションはどうなっているの?」、「水素は安全? 入手は?」、「FCVはEVの一種?」等々のご要望や疑問を持ちの方も多いかと思います。今年は、以下の構成で準備を行っています。

長年研究や開発に取り組んで来られた講師陣が、様々な疑問に解り易くお答えします。
燃料電池を基礎から知りたい方、燃料電池関連の部署に配属になった方、お申込をお待ちしています。

1. 開催概要 (講師のご都合により変更になる場合がございます)

13:30~13:40	挨拶及び概況説明	FCDIC 事務局
13:40~14:45	基礎編Ⅰ(原理~触媒)	横浜国大(グリーン水素研) 石原 顕光
14:45~15:10	基礎編Ⅱ(電解質)	FCDIC 常任理事 吉武 優
15:10~15:30	質疑応答	
15:30~15:40	<休憩>	
15:40~16:20	応用紹介 調整中(水素関連を予定)	
16:20~17:00	応用紹介 調整中(FCV関係を予定)	
17:00~17:30	質疑応答(全講師対象)	
17:30	閉会	

2. 日時 平成29年 6月26日(月) 13:30~17:30 (13:00 受付開始)

3. 定員 30名前後 (締切:6月16日(金) 但し、定員になり次第締切とさせていただきます)

4. 場所 中央大学 駿河台記念館 (JR東日本 御茶ノ水駅より徒歩3分)
東京都千代田区神田駿河台3-11-5 (Tel: 03-3292-3111 (記念館事務室))

5. 参加費(消費税込) 会員: ¥10,000 非会員: ¥20,000 学生: ¥5,000

6. 申込方法 別紙申込書にご記入の上、**FAX** 若しくは **下記 E-mail宛**に添付して申込み下さい
参加申込書が到着次第、請求書をお送り致しますので、宜しくお願い致します。

問合せ先 (一社)燃料電池開発情報センター(FCDIC) 松田/塩澤 **e-mail: fc-seminar@fcdic.jp**

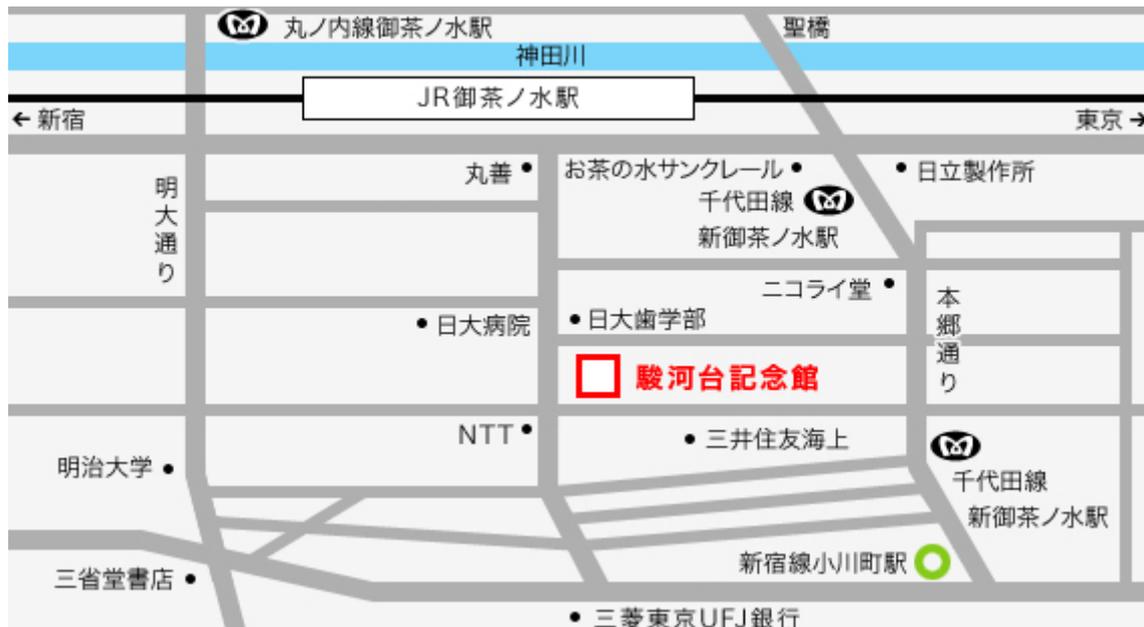
Tel: 03-6206-0231 Fax: 03-6206-0232

第23回寺子屋式講習会の会場案内

開催日時：平成29年 6月26日(月) 13:30～17:30 ※10分前にはお集まり下さい。

場 所：中央大学 駿河台記念館 6F (620号室)

駿河台記念館へのアクセス



JR 中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩 3 分

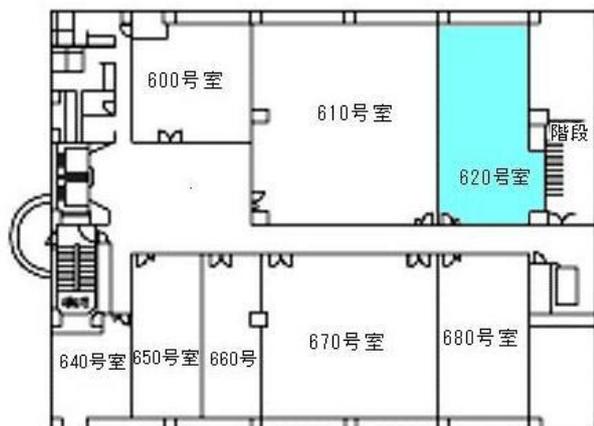
東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車、徒歩 6 分

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車(B1 出口)徒歩 3 分

都営地下鉄新宿線 小川町駅下車(B5 出口)徒歩 5 分

住所：〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5

TEL 03-3292-3111(記念館事務室)



以 上

※当日テキストを用意しておりますが、若し、ご興味がおありでしたら、以下の参考図書をご覧下さい。

<FCDIC 編>「図解 燃料電池技術 本格普及のための材料・応用・インフラ開発」 日刊工業新聞社 出版

<石原顕光著>「トコトンやさしい 電気化学の本」 B&T ブックス/日刊工業新聞社 出版